**９　栃木**

**平成３０年度　全高長・教育課程研究委員会資料**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **先進的あるいは特色ある教育課程** | **学校名等** | **課程** |
| **タブレット等のＩＣＴの活用** | **栃木県立宇都宮高等学校** | **全日制普通科** |

**ア　取組状況について**

**①　教育課程**

（教育課程編成）

　・本校は創立140周年の伝統校であり、各学年７クラス、計21クラスの男子校である。

　・本校では、平成28年度から３年間、栃木県より「スタディ・フロンティア推進事業」（コアスクールプラン）実施校に指定されており、本年度で３年目となる。

　・コアスクールプランでは、主体的に問題を発見し解決する力、協働して仕事や研究に取り組む力、論理的思考力、多面的思考力、批判的思考力、コミュニケーション力等の育成のため、外部機関と連携するとともに、タブレット端末を利用して授業の充実・教科横断的学習・課題研究を行っている。さらに、研究成果を外部に公開し、発信する力の育成に努めている。

（授業展開）

　・総合的学習の時間を活用し、「課題研究Ⅰ」（１年次前半）において、自らの生き方・将来の在り方を考え、グループで職業研究並びに学問分野研究を行う。また「課題研究Ⅱ」（１年次後半～２年次）では、外部機関と連携を密にとって指導を仰ぎ、フィールドワークを含む本格的な探究を行い、論文作成、研究発表を行う。

**②　教員の指導力向上**

（教員研修）

　・主にコアスクールプラン推進委員会と担当学年の教員が中心となり、指導法の研究を進めている。

（外部人材の活用）

　・昨年度は、以下の外部機関にフィールドワーク等で御指導をいただいた。

外部機関：スポーツ庁、栃木県庁、宇都宮市役所、栃木県立文書館、宇都宮地方気象台、

木村弁護士事務所、日本樹木医師会、中央大学など。

　・公開発表会においては、岐阜大学の小林一貴准教授に講評をいただいた。

**③　校内組織**

　・コアスクールプラン推進委員会と担当学年が中心となっているが、３年正担任を除くほぼ全教員が指導に当たっている。

**④　施設設備**

　・生徒用にタブレット（65台）、無線ＬＡＮアクセスポイント（７台）、視聴覚教室に電子黒板を昨年度設置した。

**⑤　取組の成果の（都道府県）全体への普及・共有方法**

　・コアスクールプラン課題研究公開発表会を開催している。

　・ホームページに校内発表会及び公開発表会の詳細を掲載している。

**⑥　その他**

　・タブレットを活用した効果的な授業の在り方について、研究を行っている。

**イ　今後の課題**

　・コアスクールプランが終了した後、同様の内容をどのように発展させていくか。

　・タブレットや電子黒板等ＩＣＴ機器を、さらに拡充するとともに、定期的に更新していくための費用をどう確保するか。

**栃木県立宇都宮高等学校ホームページ　　http:www.tochigi-edu.ed.jp/utsunomiya/nc2/**